



科学の甲子園全国出場へ

酒田東高チーム 市長に活躍誓う

科学好きの高校生が知識を競う第12回科学の甲子園全国大会(3月17、19日、茨城県つくば市)に本県代表として出場する酒田東高チームが16日、酒田市役

「科学の甲子園全国大会」に出場することを丸山至市長(後列左から3人目)に報告した酒田東高の生徒ら

酒田市役所

所を訪問し、生徒たちが学んだ知識を生かし活躍することを丸山至市長に誓った。

チームは昨年10月に開かれた県大会で連覇を果たした。全国大会では筆記競技と実技競技があり、チームで分担して取り組む。この日は所属する2年生8人と大山慎一校長、樋口駿教諭が訪れた。

丸山市長は「科学技術は生活を豊かにする。ぜひ全国優勝して、キャリアを磨いてほしい」と激励した。大山校長は「高みを目指して活躍してくれると期待したい」とあいさつした。リーダーの佐藤先さん(17)は

山形新聞(令和5年2月18日 土曜日)より転載

「メンバーの適材適所を把握して、ベストな状態で臨

みたい」と語った。

(井上萌々子)